

製品名: クローディン 5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08911**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN5
別名	CLDN5; AWAL; TMVCF; Claudin-5; Transmembrane protein deleted in VCFS; TMDVCF
遺伝子 ID	7122.0
SwissProt ID	O00501
免疫原	抗血清はヒトクローディン 5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 169-218

背景

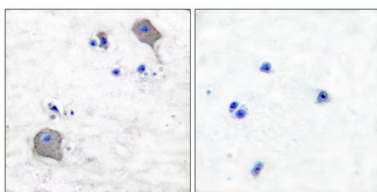
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞または内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するのを防ぐ

物理的な障壁として機能します。口蓋心臓顔面症候群の患者において、この遺伝子の変異が見つかっています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年8月]機能: タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす。類似性: クローディングファミリーに属する。サブユニット: TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、および TJP3/ZO-3 と直接相互作用する。MPDZ と相互作用する。

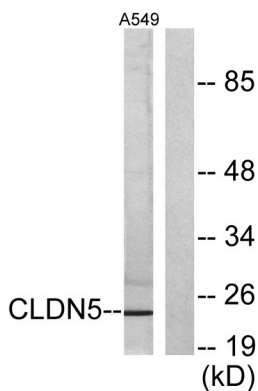
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

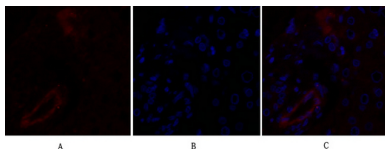
画像データ



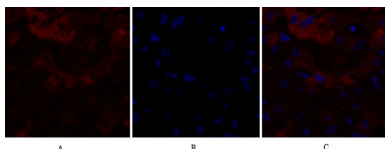
Claudin 5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



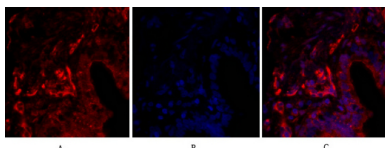
A549 細胞ライセートの Claudin 5 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



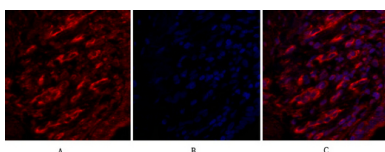
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



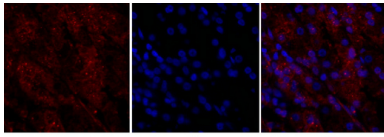
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



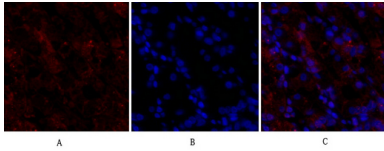
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



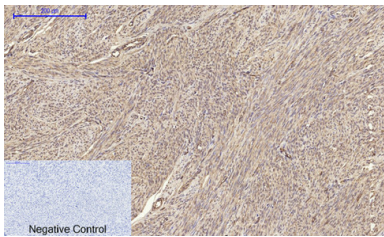
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, Claudin-5 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. Claudin-5 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。